

農地の賃借料情報

2022年1月から12月までに利用権が設定(公告)された賃貸借(賃借料が有料)における賃借料水準(10a当たり)は、以下のとおりです。

この金額はあくまで参考です。これを目安に土地の広さ、形状、水利等各種条件を考慮し、賃貸借当事者間で賃借料を決めてください。(近年では使用貸借(賃借料が無料)が多く設定されています。)

2023年2月27日 豊岡市農業委員会

■田(水稲)

地域名	平均額(円/年)	最高額(円/年)	最低額(円/年)	抽出筆数 (賃借料が有料)	使用貸借筆数 (賃借料が無料)
豊岡地域	11,600	17,200	6,000	52	1,009
城崎地域	—	—	—	—	—
竹野地域	6,300	6,300	6,300	8	24
日高地域	7,000	10,000	3,000	50	256
出石地域	5,000	8,000	2,000	70	143
但東地域	6,400	7,000	4,500	6	51
(参考) 全域平均	7,500			186	1,483

【この表の見方】

- 1 抽出筆数は、標準的な賃借料を算出するため、全賃借料の平均値±70%を超えるものを除いています。
- 2 賃借料を現物で定めている場合は、60kg 当たり12,600円で換算しています。
- 3 金額は、100円単位に四捨五入しています。
- 4 参考のために使用貸借(賃借料が無料)の筆数もお知らせします。
- 5 畑については事例が少ないため算出していません。

国民年金＋農業者年金
老後の備えは
年金積立！
節税対策しながら

ポイント
1

支払った保険料は
全額社会保険料控除の対象！

ポイント
2

運用益は非課税！
そのほか生涯を通じて様々な税制面での優遇措置
がある！

ポイント
3

農業経営の状況に応じて
保険料を増額し、節税額をアップ！

詳しくは…「農業者年金基金」検索

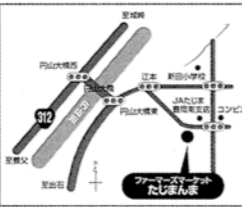
<https://www.nounen.go.jp>



ファーマーズマーケット
たじまんま

豊岡市八社宮490 TEL0796-22-0300
www.ja-tajima.or.jp/tajimanma

定休日：火曜日
(但し、祝日の場合は営業)



JAたじま

きばっとなる人らあ⑤

このコーナーでは、
地域で頑張るみなさんを紹介します。

「集落の農地はみんなで守る」

天谷宮農組合(但東町天谷)



森脇組合長と朝倉さんしょ圃場

但東町合橋地区と福知山市夜久野町を結ぶ県道但東夜久野線沿いに秋に出現する帯状の黄色いドーム菊を目にされたことはありませんか。ここが天谷区で14戸の集落です。

農地は9haが区画整理済ですが10a未満の圃場が多く、高齢化が進み耕作・管理が困難になりつつある中で、「集落内の農地は遊休農地にしたらあかん、みんなで守ろう」と平成26年に全戸が組合員となり「天谷宮農組合」が設立されました。

組合は7名の役員が中心となり、朝倉さんしょを4箇所の圃場45aで340本栽培し約200kgを出荷されています。また、小菊を10aに約5,000株、ビニールハウスでストック約3,000株、そば50aなどを栽培し、姫路やJ A等に出荷されています。稲作は刈取、乾燥調製と草刈作業のみ受託しているそうです。

組合長の森脇幸夫さんは、「さんしょの収穫量をより増やすために剪定の仕方や施肥量、また菊などの花きは出荷時期に合わせた花の咲かせ方などを試行錯誤しながら行っている。年により気候が異なり自然が相手の農業は難しいがやりがいがある。」と熱く語られました。



開花しはじめたストック

黄色いドーム菊は出荷されていないそうですが、県道からよく見える田に栽培され、通行する人の目を楽しませ癒してくれます。今年も期待しております。(農業委員 大谷 均)

「子ども達の未来のために」

成田 市雄さん(豊岡市森津)

成田市雄さんは「コウノトリ育む農法」によるお米の栽培に長年取り組まれ、無農薬栽培の面積を年々増やしてこられました。売れ行きは徐々に上がっていき、売る心配が和らいだ頃、「あれ？」と思われたそうです。子ども達に食べてもらいたくて頑張ってきたのに、豊岡で作った無農薬栽培米のほとんどが豊岡の外に出ている。豊岡の子ども達に食べてもらいたい。それなら学校給食にと考えたそうです。

しかし、ここで問題になったのは価格でした。「コシヒカリ」では学校給食に使えない単価でした。そのため、収量性と食味を考えた品種を決め、3年間実証栽培された結果、収量は十分あり食味もコシヒカリと食べ比べをしても半数近い人に美味しいと言われた「つきあかり」、これなら学校給食に向いていると思われたそうです。学校給食の試食会では「いつもより甘かった」との児童の声も聞かれ、いよいよ無農薬栽培のお米が学校給食に提供されます。

最後に夢は何ですかと聞いたところ、豊岡市が進める有機農業の生産から消費まで一貫し、住民を巻き込んだ「オーガニックビレッジ」の先進地域作りに協力し、仲間をもっと増やしたいと思います。コウノトリ野生復帰推進事業の終焉なんだろうと思っています。ただ、夢が大きすぎて人生の終焉の方が早いかもしれませんけどね！」と笑っておられました。

益々のご活躍をお祈りしたいと思います。

(農業委員 村田 憲夫)



学校給食で試食された無農薬栽培米「つきあかり」